

令和3年度シラバス（理科）

学番 30 新潟県立中条高等学校

科目名	生物基礎	単位数	2 単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	改訂版 新編 生物基礎 (数研出版)			授業形態	必修
副教材等	改訂版 生物基礎学習ノート (数研出版)、スクエア最新図説生物neo (第一学習社)				

1 学習目標（科目のねらい）

細胞、生殖と発生および遺伝について観察、実験などを通して探求し、生物体の成り立ちと種族の維持の仕組みについて理解させ、生命の連続性についての見方や考え方を身につけさせる。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考查等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間
4	第1章 生物の特徴	4	10	3. 神経とホルモンによる調節	4
	1. 生物の多様性と共通性			自律神経系と内分泌系による調節	
	生物の多様性と共通性の由来, 細胞			4. 免疫	
	2. エネルギーと代謝			自然免疫, 適応免疫	
5	生命活動とエネルギー, 代謝と酵素	4	11	第4章 植生の多様性と分布	4
	3. 光合成と呼吸			1. 植生とその成り立ち	
6	光合成, 呼吸	4	12	2. 植生の移り変わり	4
	第2章 遺伝子とそのはたらき			植生の遷移, 植生の再生	
7	1. 遺伝情報とDNA	4	1	3. 気候とバイオーム	5
	DNAの構造			世界のバイオーム, 日本のバイオーム	
	2. 遺伝情報の発現			第5章 生態系とその保全	
8	伝情報とタンパク質の合成	4	2	1. 生態系とその成り立ち	4
	3. 遺伝情報の分配			生物どうしのつながり	
9	細胞分裂と遺伝情報の分配, 細胞の分化	4	3	2. 物質の循環とエネルギーの流れ	4
	と遺伝情報, 遺伝子とゲノム			炭素・窒素の循環	
9	第3章 生物の体内環境とその維持	4	3	3. 生態系のバランスと保全	3
	1. 体内環境としての体液			人間と生態系, 生態系の保全	
9	恒常性, 体液と循環, 血液凝固	4			
	2. 腎臓と肝臓による調節				
	腎臓と肝臓の役割, はたらき				

3 評価規準と評価方法

計 64 時間(55 分授業)

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
自然の事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験の基本操作を習得し、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、科学的に探究する技能を身につけている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。

以上の観点を踏まえ、定期考查・課題・提出物・授業態度等から総合的に評価します。

4 担当者から一言

授業態度・小テスト・提出物の提出状況と考查の結果を総合的に評価します。毎回の授業をおろそかにせず、見返したときに内容が思い出せるノート作りに励みましょう。課題は抜かりなくこなし、提出物は必ず締め切りまでに出しましょう。当たり前のことを当たり前にやる！を1年間心がけて下さい。